

(別紙4(2))

目標達成計画



事業所名 グループホーム ハルジオン

作成日: 平成 31 年 4 月 19 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かつたり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	食事の時間にテレビがついているが、楽しんでいたく為と考えていたが、集中力が減退し、食事が進まなかつたら、食事量が低下している状況である。	認知症の人は一度に多くの情報を受けると混乱されることが考えられる為、希望のない時には、テレビのついていない食事時間を提供する。	今までテレビがついていた環境に馴染んでいる一部の利用者様との関係性も考え、BGMを流す等、変化に緩やかに対応して頂ける雰囲気作りを重視する。	3ヶ月
2	6	身体拘束廃止委員会と研修が2ヶ月続いての開催となっており、委員に属する職員は負担が大きかったのではないか。	委員会・研修が適切に運営、機能しながらも、出来る限り委員に負担のかからない開催方法で実施する。	委員会・研修を時間をずらした同日開催にする等、利用者様への介護が負担なく提供できるか等を検証しながら、開催方法を検討する。	4ヶ月
3	23	一人ひとりの思いや意向をご本人の言葉から抽出出来ておらず、書類や家族からの聴取に頼っていた。	ご本人の発する言葉や表情から思いや意向からサービスの提供に繋げる。	回想法等を活用する中で、言葉や表情から思いを汲み取ることが出来るよう、支援する。	5ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。